



2019年度（10月～12月） まじわるde〇〇のイベント開催報告です。

...deまなぶ：精神障がいについて
10月17日（木） 13:30～15:00
講師：矢崎知瑛氏

川崎市井田障害者センター
*参加者：16名
統合失調症が中心の講義でした。又、講師の方が実際に担当した事例の紹介もあり、精神障がいを抱える方が、地域で暮らしていくために必要な支援を具体的に学ぶことができました。多くの方が様々な要因で精神障がいを抱える時代になり、精神障がいに関心をもたれる方が多いことを実感しました。

(仮称)宮前区の「希望のシナリオ」
実現プロジェクト “みやまえ取り
組み隊” 現地ツアー

10月23日（水） 14:30～15:30
*参加者：9名
地域住民の方に、きまっしーの事業や活動の紹介をしました。障がいのある方との関わり方についての質問が多く、地域で一緒に暮らす仲間同士助け合って生活していきたいという地域住民の方たちの優しさに触れることができました。きまっしーへの理解が広がったと実感することができました。

...deぬわないがまぐち

11月2日（土） 13:30～15:00
講師：山本久仁子氏 (atelier SPICE)
*参加者：10名
針も糸も使わず、「切る・貼る・金具にはめる」という一見簡単そうに見える作業ですが、細かい部分もあり、難しい作業工程もありました。参加者の皆さんはお互いに助け合い、皆で、がまぐちを完成させることができました。皆さん口をそろえて「楽しかった」と言ってくださり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

しょうがい者サポーター養成講座
11月7日（木） 13:30～15:00

*参加者：7名
皆様に、熱心に受講して頂きました。しょうがい者サポーター養成講座では、「見守る」ことを中心にお伝えしており、参加者の方にも理解をしていただくことができました。質疑応答では、ヘルプマークの普及についても皆で考えました。神奈川県での障がい福祉の取り組みについても考える非常に良い機会になりました。

...de（ド）トーク @宮前市民館
11月19日（火） 13:30～15:00

*参加者：12名
今回は、「わたしの自慢話」をテーマにトークをしました。様々な自慢話や好きなことの話があり、話題は尽きませんでした。特に、好きなことが同じだと、トークは大盛り上がり!!あっという間に時間が過ぎました。一番の人氣は映画とカラオケでした!!好きなことをしている写真を皆に見せたり等、皆様とても楽しそうに、自慢話をしてくださいました。

...deクリスマスミニリース

12月7日（土） 13:30～15:00
講師：八木美穂氏
*参加者：15名
リースには、「途切れることのない幸せ」という意味があり、新鮮な花材の香りを楽しみながらリースを作ることができました。軸に枝を差し込む作業が少し難しかったですが、助け合いながらリースを完成させることができました!!トナカイをイメージするなど、個性溢れる作品ができ、お互いに完成したリースを見せて褒め合いました。

...de（ド）トーク
12月14日（土） 13:00～15:00

*参加者：6名
今回は初めて参加される方も多く、最初に自己紹介をし、その後クリスマスが近いということで、「まつぼっくりツリー」を作りました。雰囲気温まった所で、一年の思い出と来年の抱負について皆でトークをしました。好きなものや趣味のお話で盛り上がりました!! 来年も健康第一に、楽しく毎日を過ごすことができると良いなという想いを共有しました。



【編集後記】

今年最初の新春号はいかがでしたでしょうか。

新春ということで、今回は習字の作品を紹介しました。また、稗原地区で取り組むゆ〜ず連絡会の寄稿をお願いしたり、きまっしーが関わった農園の紹介やイベントなどの様子を書かせていただきました。

「季刊きまっしー」もまだまだ進化しそうです。

障がいのある人もない人も安心して暮らせるよう、きまっしーは今年も地域をチョコチョコ動き回りながら皆さんと一緒に歩んでまいります。



2020 イベント Calendar 1月～3月

- 1月23日（木）しょうがい者サポーター養成講座
- 1月27日（月）まじわる de まなぶ【高次脳機能障がい】について
- 2月 8日（土）まじわる de トーク
- 2月14日（金）まじわる de アイシングクッキー(ワークショップ)
- 3月 7日（土）しょうがい者サポーター交流会

季刊

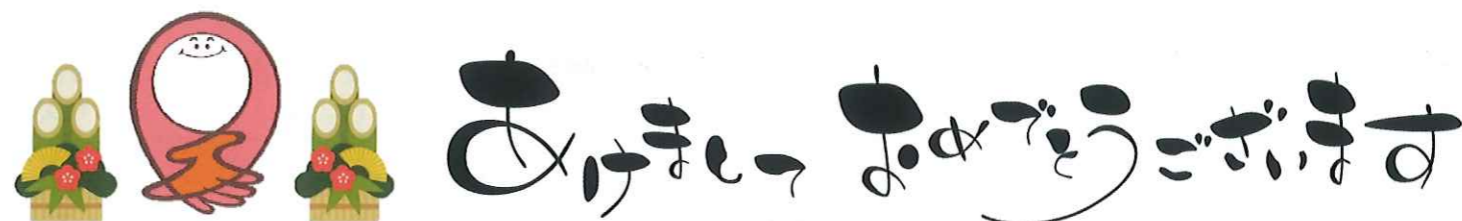
Vol. 14

新春号



発行日：2020年1月1日
発行元：社会福祉法人みのり会
生活支援センターきまっしー
連絡先：宮前区馬絹6丁目10番33号
まじわる宮前2階
TEL 044(855)1011
FAX 044(855)1022
kimassi@tobe-kobato.or.jp

<https://www.facebook.com/kimassi.kimassi/>



去年は平成から令和になり、時代が動いている事を感じる一年でした。今年はまだどんな一年になるのかと楽しみにしています。

今年のきまっしーは、求められている事は何かを考えながら活動していきたいと思えます。宮前区も広くまだまだ周知できていない地域があります。

今年はネズミ年、チョコチョコ動きながらいろんな地域の活動に参加し少しでも障がい者が住みやすい街になるよう障がい理解を広めていけたらと考えております。どこかでお会いした時にはお声をかけてください。

今年もよろしくお祈りします。



【生活介護 セルフ宮前こぼと 分場 陽だまり】提供作品



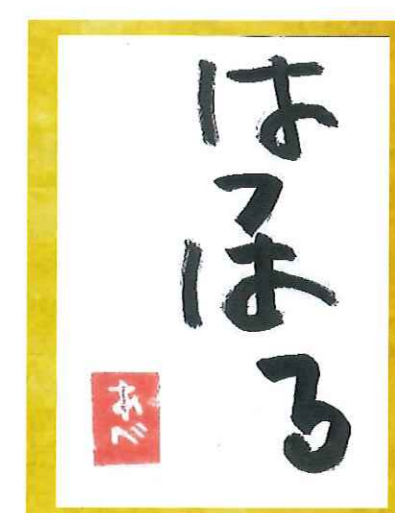
大貫 弘 さん

控えめで優しい性格です。絵画・習字、優しいタッチで小さく丁寧に描きますが、ほんわかとした素敵な作品が出来上がります。



石井 克枝 さん

優しくお手伝い好き。常にノートを持ち歩き難しい漢字も手本を見て丁寧に書きます。ウキウキ心躍る作品です。



阿部 敏男 さん

皆を和ませてくれます。力強いが、独自のゆるい感性で、思わず笑顔誘い幸せな気持ちにする作品が光ります。



稗原ゆ～ず連絡会

～ 稗原地域の取り組み ～



稗原地域は宮前区の北部に位置し、多摩区・麻生区・横浜の青葉区が隣接しています。「稗原ゆ～ず連絡会」は、この地域の7自治会を中心に地域包括ケアシステムを地域で実践していくために結成されました。連絡会の構成メンバーは、小学校区を1つの地域として福祉を考える取り組みとしており、地域にある7つの自治会、老人施設、障がい者施設3カ所、小学校、いこいの家、認知症専門病院、包括支援センターを入れた15団体です。6年後、高齢者数はピークに達すると言われており、その対策は各自治会でも共通した課題と捉えています。その1つの課題が認知症です。認知症は本人だけの問題ではなく、ご家族の生活を変えてしまうほど深刻な問題となっています。23年前に優生保護法が廃止されましたが、障がい者への偏見を今だに持っている方は少なくありません。しかし、長寿社会になった現在では、認知症を発症する方が増えていますが、認知症状によっては偏見の目で見られることがあり、支援するご家族のストレスとなっています。障がい児・者を支える家族もまたそんな偏見の中にいます。そういう意味ではご家族の行きにくさは一緒だと言えるでしょう。誰でもがいつ認知症になり、その家族になってもおかしくない時代になってきています。また自治会には病気で大変な思いをしているご本人やご家族もおります。稗原ゆ～ず連絡会は、健康者、障がい者という枠を外し、社会の一員として目の前の人をありのままに受け入れたいと考えています。どのような状態になっても地域が受け入れてくれると思えることは、人の中にも楽に息ができる環境であり、周りの目を意識せず自分らしく暮らせるということです。私達の地域包括ケアシステムは人と人、心と心を繋いで生きにくさを生きやすさにしていくことを目指しています。人の意識を早急に変えることは難しいですが、その思いを共有して少しずつでも進めて行けたらと活動しています。(稗原ゆ～ず連絡会 川田氏寄稿)

【活動内容】 (継続事業のみ)	健康寿命の推進活動	- 「体操クラブ (月2回)」
	知ることによって不安をなくす	- 「聞いて・はなして」講座
	希望自治会・団体で行う	- 巡回講座 (内容は共通)
	小学校で学ぶ	- 「おとなの学校」
	食事作りを学ぶ	- 「料理教室」
	音楽を楽しむ	- 「春のひとときコンサート」
	若い世代の居場所	- 「ゆ～ずパーティ」
	加入団体の祭り協力	- 老人施設・障がい者施設
	連絡会キャラバンメイト	- 認知症サポート養成講座



きまっしーの宮前区さんぽ

認知症サポーター養成講座
令和元年11月1日(金)認知症サポーター養成講座へ行ってきました。ご家族に認知症の方がいらっしゃる方や、福祉関係のお仕事をされている方などが参加されました。講義だけでなく、認知症介護を経験されたご家族のお話や、みやまえ福祉白幡劇団による劇もあり、認知症についてのイメージを膨らませながら学ぶことが出来ました。また、認知症の方やそのご家族を見守り、支える地域の大切さを改めて実感する講座でもありました。

土橋カフェ
令和元年11月6日(水)土橋カフェに行ってきました。当日は、千葉県から団体でカフェのお勉強に来ていらっしゃる方々もおり、100名以上の参加者の方がいらっしゃいました。スタッフの皆様は丁寧にテキパキと動いており、大人数の参加でもスムーズに会が進んでおりました。お茶とお菓子を頂きながら、遺品整理専門会社「キーパーズ」社長吉田太一様から講義を受けたり、テーブルの皆様とゆっくりおしゃべりをしたり等、非常に充実した時間を過ごすことができました。

みやまえ福祉フェスティバル
令和元年11月10日(日)みやまえ福祉フェスティバルに行ってきました。開始時間早々からすでに会場はお客様でいっぱいでした。区役所屋外では、食べ物や遊び、お土産のブースがずらりと並んでおり大盛り上がりでした。市民館内では、ポッチャをしたり、昔なつかしい遊びを教えてください、紙飛行機を作りました。その他にもワークショップや巨大迷路、健康相談等様々な企画があり、小さなお子様から高齢者の方まで皆が楽しむことができるフェスティバルでした。

(仮称)宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト
令和元年11月17日(日) (仮称)宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト「みやまえ取り組み隊」現地ツアー報告会&ミーティングに参加してきました。きまっしーは、コース5で取り上げていただきました。他のコースの様子も報告会を通して知ることができました。又、グループワークを通して、地域住民皆で宮前区を盛り上げていきたいという気持ちが更に強まりました。地域で活動している方々に、きまっしーの活動を知って頂く良い機会となり、また、多くの方々と繋がることができました。非常に有意義な会でした。



旬の野菜はいかがですか

～ 梅原農園を訪ねて～



田園都市線〔宮前平駅〕から徒歩7分。きまっしーが毎年行っている「まじわーるde夏まつり」では「梅原農園」から野菜を提供してもらい、今では野菜販売に欠かせない農園さんの一つとなりました。

梅原農園は、有機栽培で無農薬、無化学肥料で野菜や果樹を育てています。また、ここでは畑の一面をJAセレサ川崎さんと協力して「あぐりっこ農園」(指導付き体験型農園)を開き、地域の方々に野菜の栽培方法などを教えて野菜作りの楽しさを提供しています。「セルフ宮前こぼと」や近くの保育園も「あぐりっこ農園」を利用して種まきから水やり、草取りなどを学びながら野菜作りを楽しんでいるとのこと。

梅原農園の自宅前には直売所があり、旬の野菜が多数取り揃えてあります。近くを通る方は、ぜひ立ち寄ってみてください。

ご興味をお持ちの方は、[宮前平 梅原農園](#) で検索してみてください。

住所：〒216-0035 川崎市宮前区馬絹1丁目19-17
連絡先：044-930-1130
営業日：不定休
営業時間：9:00～18:00



生活支援センター きまっしーからの まじわーるdeまなぶ ステップアップ講座 ～高次脳機能障がい～
○日時：1月27日(月) 10:00～11:30
○場所：宮前市民館4階 第4会議室
○講師：松井 健太氏 (川崎市れいんぼう川崎 在宅支援室 リハビリテーション係 公認心理師)
○参加費：無料
初めてステップアップ講座を開催します。初回のテーマは年々関心が高まっている「高次脳機能障がい」について。興味・関心のある方は、ぜひいらして下さい。

お知らせ!

しょうがい者サポーター交流会

○日時：3月7日(土) 10:00～12:00
○場所：あーる工房2階 食堂
○内容：第一部 講話 第二部 座談会
○参加費：無料

今年で2回目の開催となります。しょうがい者サポーターの登録者も250名を超えました。近くで暮らしていても、サポーター同士が顔を合わせることは少ないと思います。この交流会では、障がいを抱えながら地域で暮らしている方のお話を聞いたり、サポーターとして活動する中で出会った心温まるエピソードや困りごと等を語り合い、横の繋がりを築ききっかけ作りが出来たらと思っています。皆さまのご参加をお待ちしております。

